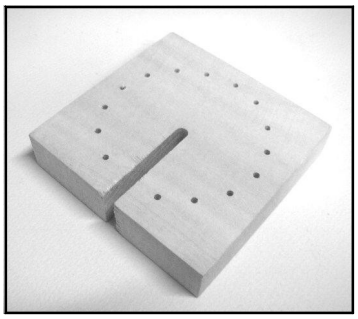
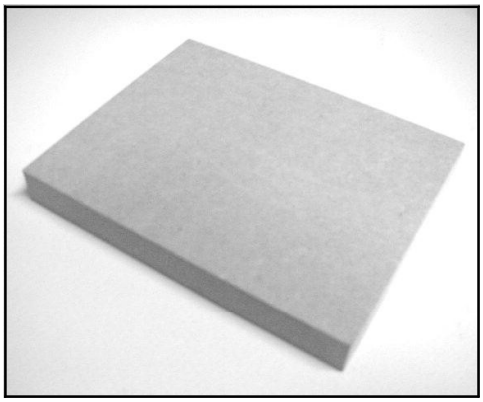
ライティングベースの使い方を工夫しよう

基本材料

照明器具（スイッチ付きき）



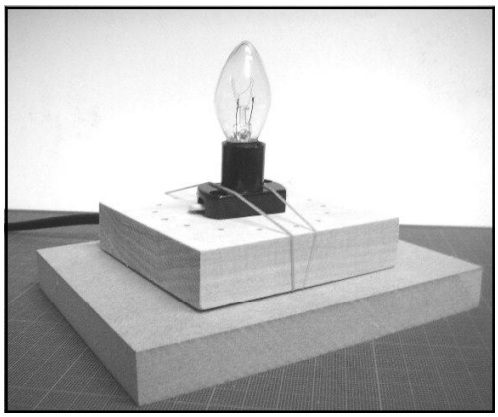
ベース小（９×９×２ｃｍ）
※すでに穴が空いている

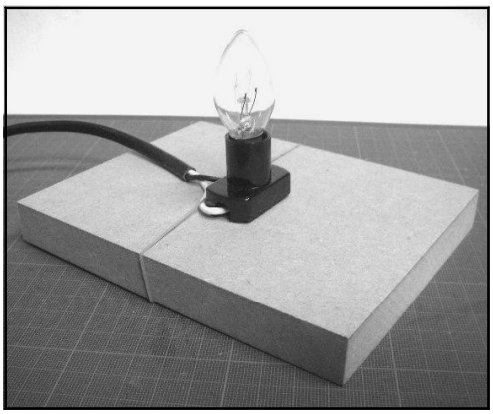


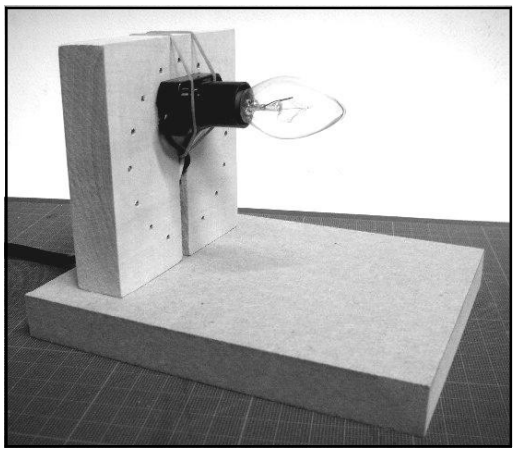
ベース大（１２×１５×１．８ｃｍ）

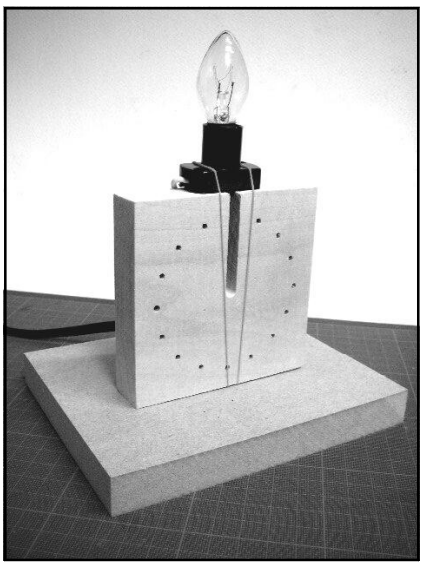
◎　制作しようとする作品の形状にあったライティングベースの材料の組合せを工夫しよう。
◎　ベース材料は木製なので糸ノコやベルトサンダーで形状を自由に変えることもできるよ。

主な組合せ（例）









材料の特徴を理解し加工法を工夫しよう

基本材料	特　徴	基本的な加工技法	参考ページ
紙粘土	自由に形を作ることができる。 細長いものは芯を入れる。	のばす、丸める、つまむ、 ひっかく、のばす、ねじる 切る、ちぎる 穴をあける、型を押す	資　P40，86～89 教１P11,13 教２・３下 P13
ケント紙	コシと張りがある。 若干透過性がある。	折る、丸める、切る、貼る、 組む、ひっかく、破る、塗る	資 P81 教2・3下 P22, 23
和紙（障子紙）	やわらかい 透過性がある。	丸める、切る、貼る 破る　塗る	
針金（心材として）	自由に折り曲がる。	折り曲げる、からめる、ねじる	資 P48、80
竹ひご（心材として）	張りがある。	曲げる（ろうそくの火であぶる）	
その他	使えそうな材料を集めよう。 着彩の効果も生かそう。（水彩技法やモダンテクニック） 針金や竹ひごを大量に使う人は、自分の必要な量をを準備しよう。		資 P80 教2・3上 P22, 23 教１ P42, 43

テスト当日の「制作の計画書作成」について

１　テーマを明確にしておこう。自分のどんな面を表現しようとするのか、どんな思いを表現しようとするのか、説明できるようにしておこう。

２　使用する材料が示せるようにしておこう。

３　テーマに基づいた作品の完成予想図を描けるようにしておこう。
- 具象表現か抽象表現か、またそれらを組み合わせたものか示せるようにしておこう。
- 図で表しにくいところや工夫するところは言葉で説明しよう。
- 完成予想図は、平面的でも立体的に描いてもよい。
- 図は１方向からだけでは示せない場合は、例えば正面図や側面図などに分けて描いてもよい。
- ライティングベースなどの形状も考えておこう。
- だいたいの電球の位置が示せるようにしておこう。
- 色鉛筆や配色カードなど彩色する場合の様子を示してもよい。

４　制作の予定時間は５時間です。５時間分の活動計画を立てられるようにしておこう。

第３学年美術科後期中間テスト

岡山大学教育学部附属中学校

「１５歳の自我像」の制作計画書を以下の問いに答えて完成させなさい。

１　あなたの作品のテーマについて、自分のどんな面を表現しようとしているか解説しなさい。

２　あなたの立体作品の表現は、**A具象的表現　B抽象的表現　C具象と抽象を合わせた表現**のどれですか。

３　あなたの立体作品の制作において使用する材料をあげなさい。

４　テーマに基づいた作品の構想図（説明図）を、以下の点を踏まえ描きなさい。

・ワクの大きさを十分に活用すること。
・図は、平面的でも立体的でもよい。
・図は１方向からだけでは示せない場合は、例えば正面図や側面図などに分けて描いてもよい。
・図で表しにくいところや工夫するところはメモ書きで説明しよう。
・だいたいの電球の位置を〇で示しておこう。
・ライティングベースなどの形状も図で示すこと。
・色鉛筆や配色カードなど彩色する場合の様子を示してもよい。
・メモ書きや資料などの添付はワク外にはみ出してもよいが、解答用紙からはみ出さないように気を付けること。

５　制作時間は５時間予定です。５時間分の制作スケジュール（活動目標）を立てなさい。

６ テストが終わった人は、クロッキー帳に「１５歳の手」のスケッチ練習をしていこう。

連絡① テスト終了後クロッキー帳を美術係に提出すること。
美術係が集めて、放課後第１美術室へ提出すること。
・プリント類などの整理がしっかりしてあること。

連絡② ライティングベースの材料をもっている人は、各自、放課後第１美術室へ提出すること。
クラスごと箱を用意しているのでその中に、氏名を確かめて提出すること。

「１５歳の自我像」制作計画書	組	番	氏名

１ テーマ

２　　Ａ 具　象　　Ｂ 抽　象　　Ｃ 具象と抽象を合わせたもの

３　使用する材料するものに○

・紙　粘　土　　・ケント紙　　・和　紙　　・針　金　　・竹ひご

・その他自分で用意する材料

５ 制作スケジュール

	具体的な活動目標	準　備　物
1		
2		
3		
4		
5		

４ 構　想　図

組　　番　　氏名